

施設ボランティア受入れ研修会

(兼サマーチャレンジボランティア2013 受け入れ先説明会)

ボランティア活動の場として施設は欠かすことのできない存在です。

しかし、「ボランティア担当者になったけど何をすればいいんだろう?」「他の業務が忙しくて…」「ボランティアが定着しない」「そもそもボランティアを受入れると何がいいの?」という声が聞こえるのも事実です。

それを受けて、サマーチャレンジボランティア受入れ先説明会を兼ねて、施設がボランティアを受入れる意義を考え、ボランティア活動の理解を深める機会になればとシンポジウム形式で研修会を開催しました。

◎ 日時・会場

5月2日(木) 14:00~16:30 長野市ふれあい福祉センター5Fホール

◎ シンポジスト「ボランティアを受入れるってどういうこと?」

～よりよい受入れのために必要なこと、大切なこと～

- ・コーディネーター 中島 謙二 氏 (特別養護老人ホームやすらぎの園 統括施設長)
- ・シンポジスト 樺沢 徹也 氏 (ワークセンターYUI 施設長)
- 長坂 平和 氏 (グループホームコスモスさいなみ)
- 近藤 一恵 氏 (篠ノ井こども広場 このゆびとまれ)

◎ 参加者

- ・77施設・85人
- ・参加施設内訳 (医療2、高齢者43、子ども24、障がい児・者7、その他1)

